

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TMB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、弁護士法人ベトナム明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス



【大連支店】

越境 EC に関連した活動について

1. はじめに

4月に入り、例年通り大連でも桜が咲きました。私も駐在員はコロナの影響で長い者では1年半帰国できていませんが、満開の桜を見上げると、新入学を迎える保護者の方々が同じ光景を日本で見ているだろうと感慨深いものがあります。

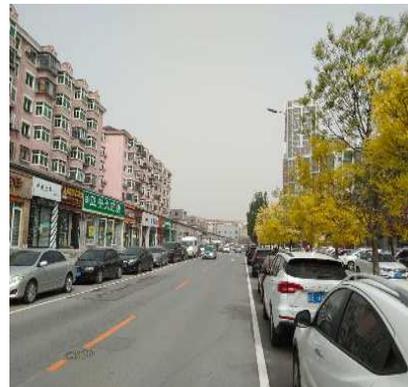
中国の新入学は9月ですが、一般的に中国の保護者は12月～翌5月までにマンションを購入されます。理由は、中国の小学校は学区制を導入しており、教育の充実した小学校、有名中学校の合格者が多い小学校は人気が高く、そうした小学校周辺のマンションを購入するからです。

また、中国では1つの設計図で同じマンションを数十棟も建設しますが、同じ間取り、外観のマンションでも道路を1つ隔てるだけで、マンション価格が150万元(約25百万円)違うことがあります。上の写真では、道路を挟んで学区が異なり、人気のある右側の学区は左側と比べると平米単価が2倍高くなります。中国では「学区房」と呼ばれますが、名門校に通うことができる地区は価格が高騰しています。また、7階は発音から「上がる」を意味し人気がありますが、8階は「下がる」、14階は「死」、18階は「地獄」を意味するため敬遠され価格も下がります。

このように、駐在していないと理解できない当地の常識が多く、日々日本との違いに刺激を受けています。大連支店では海外販路の拡大支援を目的に、当地で越境 EC 事業を2年前から展開しています。今回は駐在員だからこそ実現できた、越境 EC に関連したイベントをご紹介します。

2. 日本商品お試し会

越境 EC「Eddimall」では、現在13都道府県から45社が214商品を販売しています。45社のうち44社が初めての海外販売のため、私どもは様々なイベントで各社の商品をPRしています。具体的には、日本酒やワインは商品説明書を作成し、化粧品などは動画を配信して、飲み方、使い方、用途、原材料、特徴を理解していただくようにしています。ま



*学区の異なる風景

た、イベントでは試飲、試食も行ってきましたが、例えば醤油は刺身や寿司に使うことはよくご存じですが、その他料理にどう使えばいいかわからないとの意見が多く、今回日本料理店にご協力いただき、日本人の料理長が越境 EC の商品を用いた料理を考案し、9 種類の試飲アルコールとともに料理を楽しむイベントを企画しました。

2021 年 4 月 24 日（土）、大連市内の日本料理店「のん太」にて「日本商品お試し会」を開催致しました。今回の開催目的は、越境 EC サイトの認知度向上、取扱商品の良さと使い方を理解いただくこと、日本料理店はイベントを機会に新規のお客様に来店いただくことにありました。イベントの開催案内は、Wechat を利用したモーメンツ広告、地元タウン情報誌の電子版、管轄する西崗区商務局の公式アカウントでの動画広告を利用し、38 名のお客様に参加いただきました。

日本商品お試し会 おしながき			
写真	料理のご紹介	写真	料理のご紹介
1	野菜の焼き合せ 焼肉、焼魚、野菜 それぞれの野菜を数年に亘って作り替わ りなす	11	「盛り」焼肉三種盛り ステーキ、ステーキ、焼き肉三種盛り ステーキ、ステーキ、ステーキ
2	焼肉定食 焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、 焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、 焼肉	12	焼肉「おしながき」焼肉、ステーキ、 ステーキ
3	比治亭 比治亭、比治亭、比治亭、比治亭、 比治亭、比治亭、比治亭、比治亭、 比治亭	13	焼肉「おしながき」焼肉、ステーキ、 ステーキ
4	しのや しのや、しのや、しのや、しのや、 しのや、しのや、しのや、しのや、 しのや	14	焼肉「おしながき」焼肉、ステーキ、 ステーキ
5	ハスカツ定食 ハスカツ、ハスカツ、ハスカツ、ハスカツ、 ハスカツ、ハスカツ、ハスカツ、ハスカツ、 ハスカツ	15	焼肉「おしながき」焼肉、ステーキ、 ステーキ
6	海鮮刺身 海鮮刺身、海鮮刺身、海鮮刺身、 海鮮刺身、海鮮刺身、海鮮刺身、 海鮮刺身	16	焼肉「おしながき」焼肉、ステーキ、 ステーキ
7	カツカレー カツカレー、カツカレー、カツカレー、 カツカレー、カツカレー、カツカレー、 カツカレー		
8	香ばしい 香ばしい、香ばしい、香ばしい、 香ばしい、香ばしい、香ばしい、 香ばしい		
9	おいしい おいしい、おいしい、おいしい、 おいしい、おいしい、おいしい、 おいしい		
10	焼肉 焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、 焼肉、焼肉、焼肉、焼肉、 焼肉		

* 当店行員が作成した「お品書き」



* ご来店されたお客様

今回のイベントではお品書きを私どもが作成しました。お品書きは料理の写真とともに、料理名、材料、作り方、使用した越境 EC 商品を紹介し、お酒は甘口・辛口や飲み方、お酒に合う料理を紹介しました。また、今回のイベントでは参加者アンケートを実施せず、日本料理店の従業員がお客様に感想を求めることで、本音を拾い上げることにしました。参加者のご感想をいくつかご紹介させていただきます。

日本酒、ワイン、泡盛を試飲したお客様は、「中国では、宴席で白酒（アルコール度数が一般的に 40～50 度程度）を飲むことが多いけど、白酒と比較すると日本酒はアルコール度数が低いため、女性でも飲みやすい」と好評でした。また、「日本酒には辛口や甘口があること、飲み方（ひや、熱燗等）でも味わいが異なるのが面白い」と話されていました。

高校生とお見えになったお母様は、「いつもは一人 300 元の食べ放題、飲み放題の日本料理店に行くけど、息子に一度きちんとした日本料理を食べさせたかった。今回は初めて会席料理を食べたけど、いくつもの小鉢に少しずつ料理が盛られ、見て美しく、食べて美味しく、ゆっくりとお酒を楽しめたのはよかった」と話され、次回は家族全員で来店すると

笑顔で話されました。

社会人の女性2名で来店されたお客様は、「お品書きが配られて日本人らしい細やかさを感じました。お酒は量が少ないかと感じましたが、料理が多かったのでお酒の量はちょうどよく、少量のため9種類の違いを味わうことができました。大連でこのようなイベントは初めてだと思います」と話されました。

ご年配の夫婦は、「本物の日本料理と、本物の日本式サービスで快適でした。日本には行けませんが、こうしたイベントを大連市内の各地で開いて欲しい」と話されました。

一方で、想定外のハプニングもありました。38名分のお酒を9種類セットするには準備時間が足りませんでした。いつも中国のみなさんは定刻に集まることはほとんどありませんが、イベントでは38名全員が予約時間に来店されたため、厨房はフル回転で、天ぷらなどの温かい料理は一度に配膳したため、冷めて残念だったとの声もいただきました。

イベントには在瀋陽日本国総領事館大連領事事務所の領事、北九州市大連事務所所長もご参加されました。当地では、越境EC商品の通関で大連領事事務所には様々なアドバイスをいただいております、北九州市の所長は北九州市から2社が出品しているため、様々なイベントで地元の観光紹介と商品販売で協力いただいております。北九州市の所長は、これまで観光PRや公式アカウントの紹介が主なイベント活動でしたが、商品販売はお客様が説明を聞いてくれ、手に取り、ご購入いただき、消費者反応が直接伝わることからイベント活動が充実してきたとご感想をいただきました。

2年間で作り上げてきた越境ECですが、日本商品の販売を通じて分かったことは、良い商品だから売れるわけではなく、その良さを丁寧に消費者の皆さんに説明することが大切で、その説明には単純に商品の良さだけではなく、原材料や作り方、作る方の思いや歴史、文化、習慣などを伝えることも重要であるということです。つまりは、商品販売においては地域の魅力をまるごと伝えることが大切で、越境ECの取組を通じて日中両国の観光分野にまで波及する可能性を確認しています。このため、各地域の観光課、観光協会にご協力いただき観光動画を配信し、その地域の魅力も合わせて伝えています。

3. チーズとジャム

海外展開を検討されているお客様には、消費者の反応を確認するため試食会や体験会等テストをしたいとのニーズを頂戴しています。大連支店には、これまでに傘、葛湯、あんこ、もずくなどがテスト商品として日本から送られてきました。当店の現地行員や一般の方にアンケートや感想をいただけてきましたが、右の写真の通り、今回のイベントではお客様の「あんこ」を日本料理店に提供し、料理長がいちご大福を作りました。大連のスーパーでもいちご大福は販売されていますが、似たものであり、食感、味は本物ではありません。イベントでいちご大福を召し上がった方は、大福を包むもっちり感と、黒くて甘いあずきの組み合わせに



*実際に提供された「いちご大福」

驚きの表情をされました。また、北海道のジャムはパンに塗って食べる発想しかありませんでしたが、料理長はチーズとジャムの組み合わせで提供され、チーズの濃厚さと塩味に対し、甘いジャムは甘さがかき消され、ジャム本来の果実を味わうことができました。参加者からは更にクラッカーを合せれば、ホームパーティーにピッタリとのご意見があり、ジャムとワインを購入されました。

料理方法や組み合わせの発想を転換するだけでも、PR できるポテンシャルはありますし、出品を検討されます企業の皆さまは自社商品の新たな PR を是非探していただきたいと考えています。大連は歴史的な背景からも非常に親日的な地域で、日本語を話すことができる方が多く、安心・安全に代表される日本ブランドの良さを理解していただきやすい環境にあります。もちろん、中国の消費者の傾向として、「有名ブランド」、「著名人が利用している」等はありませんが、初めての商品でも、実際に体験して、良さを理解していただければ商品の購入に結び付きます。日本商品お試し会の物販ブースでは、イベントで使用した商品を販売しましたが、お帰りの際に買われた方が多く、約 71 千元（約 119 万円）の販売実績に繋がりました。

4. 終わりに

越境 EC の取組では、日本側、中国側で信頼できる物流会社をパートナーにできたことが全てのスタートでした。両社とも通関における AEO*認定を受けており、コロナ禍でもスムーズにモノは流れています。大連港は国際港でありながら、コロナ禍で取扱高は直近 40% も減少し、天津港、青島港は増加しています。現在もコロナ禍で物流に課題を抱える日本企業の現地法人に対し、私どもの物流パートナー企業をご紹介しながら、課題解決のお手伝いをし、大連支店の本業にもつなげています。中国との貿易取引において物流の課題がありましたら、当店にご連絡ください。

最後に、当店は地域金融機関として、地元である大連市の経済発展という視点も大切に、日中双方の経済交流と、関係先のご協力を得ながら、観光・人的交流を含めた新しい方向性を導きだしたいと考えています。

※AEO…認定事業者制度。国際貿易の安全確保と円滑化を目的とした、貨物の安全管理や法令順守体制が整備された事業者に対して、税関が利便を与える制度。

(山口銀行大連支店 古屋 俊雄)

【画像】

全て筆者撮影